

どしゃさいがい とくちょう し 土砂災害の特徴を知っておきましょう

！ 雨に注意しましょう

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。



！ 土砂災害警戒情報に注意しましょう

大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、気象庁から発表されます。発表されなくても、斜面の状況に注意し、前ぶれ現象に気づいた場合には、速やかに避難してください。



！ 前ぶれ現象に注意しましょう

次のような現象に気づいた場合は、土砂災害が発生する可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることを「がけ崩れ」といいます。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。

前ぶれ現象

- 小石がパラパラ落ちてくる。
- がけから、水がわき出てくる。
- 斜面のひび割れ、変形がみられる。

土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものを「土石流」といいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20km~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

前ぶれ現象

- 山鳴りがする。
- 川の流が濁り、流木が混ざり始める。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

地すべり

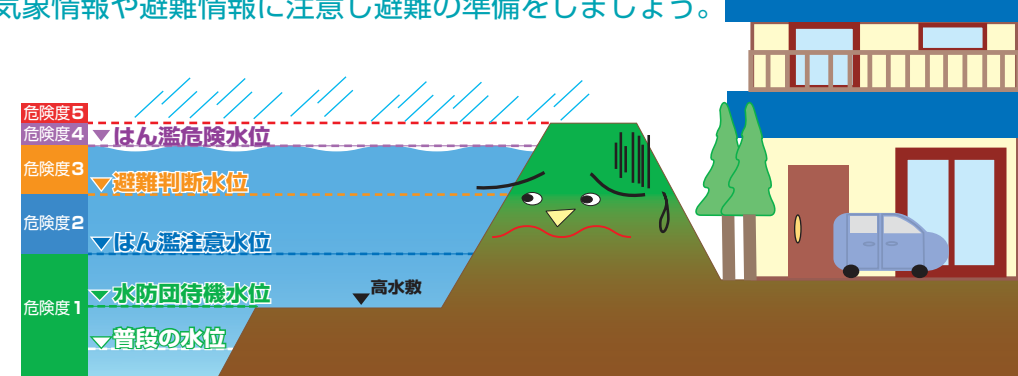
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面の下の方に移動する現象のことを「地すべり」といいます。土の量が多いため、大きな被害が出ます。また、一度動き出すと、完全に停止させることは非常に困難です。雨だけの原因ではないため、発生の予測は難しいです。

前ぶれ現象

- がけや斜面から水が噴き出す。
- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。

かせん すいい こうすい きけんど し 河川の水位から洪水の危険度を知っておきましょう

大雨の影響で河川の水位が上昇し、はん濫します。雨の降り方や住んでいる地域で異なりますので気象情報や避難情報に注意し避難の準備をしましょう。

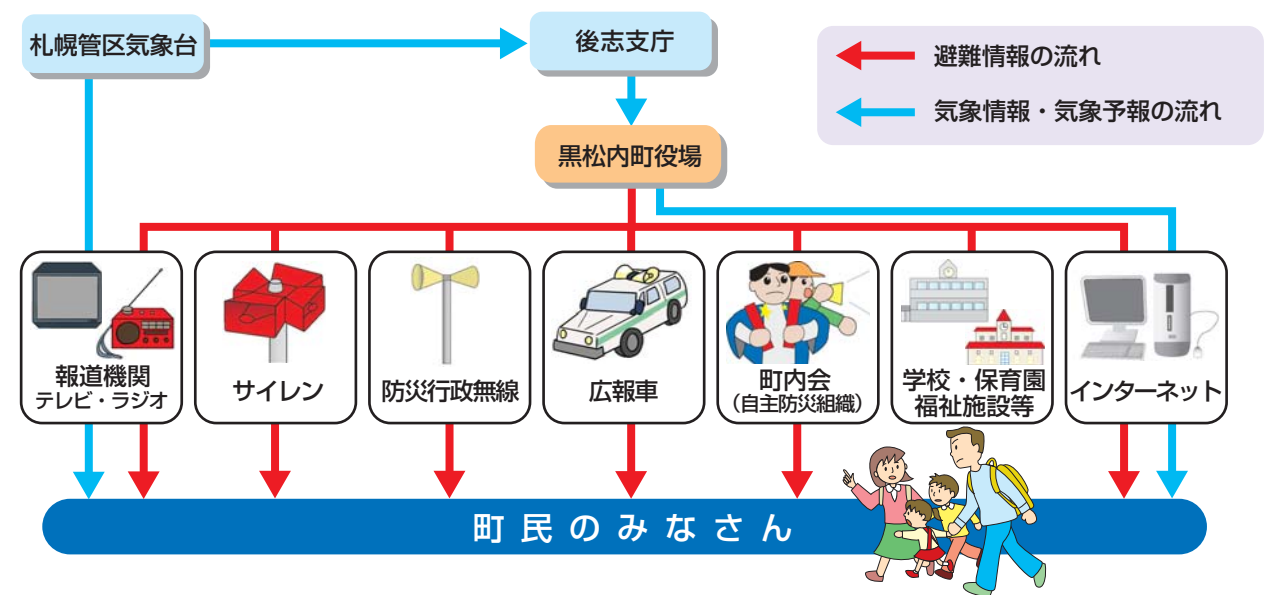


水位はインターネットで「テレメータ水位 朱太川 黒松内」で検索すると確認することができるので、河川に近づいてはいけません。

危険度5	川から水が溢れてきます。	無理に避難せず、自宅等の2階に避難し救助を待ちましょう。
危険度4	川がはん濫する恐れがあります。	これまでは避難を終えましょう。
危険度3	避難判断水位を超えています。	避難を始めましょう。
危険度2	普段よりかなり増水しています。	避難の準備をしましょう。(要援護者の方は避難を始めましょう。)
危険度1	川の水位が上昇する恐れがあります。	テレビやラジオ、インターネットなどの情報に注意しましょう。

ひなんじょうほう なが 避難情報の流れ

災害に関する情報は、下図の経路で町民のみなさんに伝達されます。これらに注意し、すみやかに避難できるように心がけましょう。



避難情報	発令時の状況	町民のみなさんがとるべき行動
避難準備	人的被害の発生する可能性が高まった状況。	非常持出品の用意などの避難準備を開始。また、避難行動に時間を要する方は避難行動を開始してください。
避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況。	通常の避難行動ができる方は、指定避難所へ避難行動を開始してください。
避難指示	人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況。もしくは人的被害が発生した状況。	避難勧告の発令で避難中の方は、確実に避難行動を完了させてください。避難に間に合わない方は、命を守る最低限の行動をとってください。

！ 災害が発生する前に、早めの避難を心がけてください。自然現象のため不測の事態も想定されるため、その時の状況に応じて避難行動をとりましょう。